「平和と人権」市民ネットワーク情報 No.22-5(通算 85 号)
事務局発行(TEL 0557-45-1182) http://peaceito.moo.jp 2022.5/18

5／3 憲法記念日 集会とパレードを挙行

◆今年 5 月 3 日で憲法施行 75 年です。昨年 10 月の衆議院選で改憲政党が 2/3 超の議席を占め、憲法審査会で実質的な審議が進められています。また、ウクライナ情勢に乗じて軍拡の宣伝が国民レベルに広まり、9 条改正の声が強まっています。憲法施行 75 年、平和憲法が最大の危機を迎えているなか、伊東市松川公園で、伊東憲法集会が開かれました。参加者は 40 名弱で、昨年とほぼ同数でした。中心メンバーは「スタンディング」参加者です。日常的な活動がイベントを成り立たせる力になっています。

午後 2 時、石井和子さんの司会でスタート。最初に斉藤昭夫さんが挨拶し、憲法を守る運動の意義を訴えました。続いて、歌を挟んで 5 人の方がスピーチをしました。

太田進さん

市長の確約書の真相を究明しよう。

藤原益美さん

5 月 22 日は静岡県母親大会です。観光会館に来てください。

伊藤廣光さん

プーチン大統領は何回も憲法を改正して独裁権力を得た。権力を縛る憲法を変えてはいけない。

重岡秀子さん

軍事力で争いに決着をつけようとするのは間違いだ。交渉し、話し合いによって解決をはかるしかない。その力を私は信じる。

犬飼このりさん

日本がロシアの経済制裁に乗りだせば戦争の当事者となる。日本は中立を守るべきだ。

◆スピーチの後は、宮崎美和子さんが集会決議文（次ページ）を読み上げて採択し、佐藤龍彦さんの音頭でコールをして締めました。そして市内パレード。3 年振りです。翌日の伊豆新聞の記事を含めて、伊東市民に憲法擁護の活動を宣伝できました。

◆7 月の参議院選を経て、遠くないうちに憲法改正・9 条改憲が最大の政治的争点に上ってくるでしょう。そのとき、9 条擁護の運動をどれだけ展開できるか。そのカギは今取り組んでいる日常の活動にかかっていると思います。自前の地道で継続的な活動こそが、いざという時の力になると信じます。その意味で、今年の憲法集会とパレードの意義は決して小さくはなかった、と考えています。

集会決議文(抜粋)

今、改憲派は日米同盟の強化、防衛費の倍増、敵基地攻撃能力の保有、核兵器の共有といった戦争国家へと日本を変えようとしています。しかし、軍事同盟の強化・拡大は仮想敵国との緊張を高め、戦争に行き着くのが歴史の教えるところです。対中包囲網を強化し中国との緊張を高めれば、それだけ戦争の危険が増します。台湾問題であれ、尖閣問題であれ、ひとたび戦火を交えればどうなるか。島国で人口密度が高く、日本海側に原発が立ち並ぶ日本は壊滅的な打撃をうけます。戦争は絶対さけなくてはなりません。そのためには軍事同盟の強化ではなく、利害が対立する国をも含めた多国間の話し合いの仕組みを作るべきです。戦争を放棄した日本は、そのような 国際機構の設立に外交努力を集中するべきです。ウクライナ情勢に便乗して憲法を改正して戦争が出来る国にさせてはなりません。私たちは平和憲法を決して手放さず戦争への道に待ったを掛けるため力を合わせて闘います。以上、決議します。

宮崎美和子さん

2022 年 5 月 3 日　憲法集会参加者一同

第93回 メーデー伊東地区集会開催

５月１日(日)、伝統のメーデー集会が松川藤の広場で開催されました。

開会直前から降り出した雨にも負けず、１０団体から約１００人が元気に参加しました。「平和と民主主義、生活と権利を守れ」のメインスローガンを掲げ続けてきたメーデーにふさわしく、「ロシアはただちに侵略やめろ」「憲法９条を守り生かせ」「軍事費削ってコロナ対策に」など、命とくらしを守る政治への転換を求める声が相次いでうったえられました。集会後は３年ぶりに伊東駅前までのパレードも実施され、コールは出来ませんでしたが思い思いの旗やプラカードを持って、沿道の市民や観光客にアピール出来ました。

〈４月の１９日行動〉ースタンディングーの報告

穏やかな春の日射しを浴びながら、観光会館前で恒例の「スタンディング」活動を行いました。前回は 40 人を超える人が参集しましたが、今日はその半分くらいでしょうか。その代わり、と言ってはなんですが、ワンちゃんが飛び入り参加しました。戸田弘子さんが進行役をつとめ、田中秀幸さんの力強いコールで始まりました。歌の方は歌詞カードがなく、みなさん声を合わせるのが大変そうでした。スピーチの最初は藤原益美さん。5 月 22 日の母親大会の問題別分科会と見学分科会の内容を丁寧に説明されました。いよいよあと一月余りです。次いで、参加者からひと言ずつ発言。すべての人がウクライナ問題をとりあげ思いを語りました。即時停戦を求める人、戦時における原発の危険を語る人、日米同盟強化論を批判する人、選挙によって政治を変えようと訴える人…などなど。最後に中川さんの「戦争を止めろ!」との雄叫びで、今日の行動を終えました。　（文責）　三好康昭

※追補…伊東警察からスタンディングの際、道路使用の許可申請を出すよう求められました。公道を使用する以上、正式な届が必要だという理屈です。許可申請は一回につき 2,300 円の手数料がかかります。今まで 6 年以上も黙認してきたのに、なぜ今になって？これも警察の規制強化の一環でしょうか。写真のワンちゃんも、もしかして「警察の犬」かも。

これからの行動予定

・5 月 22 日（日）…静岡県母親大会(次頁参照)
（観光会館ﾎｰﾙ、会議室等）
・5 月 27 日（金）…「市民病院の今と明日
10:00～　　を考える会」の集い
（市役所展望ギャラリー）
・6 月 5 日（日）…ウクライナ人道支援・
コンサート＆講演会(別紙参照)
（アクシス　かつらぎ）
・6 月 6 日（月）…署名と宣伝活動
14:00～　（湯の花通り）
・6 月 19 日（日）…「19 日行動」（観光会館）
14:00～　**終了後(15:00 頃～)、観光会館第2会議室にて母親大会分科会で行われる小澤隆一氏講演の視聴会を開きます。**

憲法記念日／新聞意見広告運動
ご協力ありがとうございました

「９条の会・伊東」が呼びかけとなり、静岡県下の９条の会の仲間とともに、全面広告掲載運動に参加しました。今年も、朝日・毎日の２紙に掲載する取組みとなり、全体で８０団体、５３４３人（昨年 5162 人）、伊東では、２８３人（昨年も同数、非掲載含むと 295 人）の方に掲載への賛同をいただきました。

カンパのみに協力いただいた方も多数いらっしゃり、本当にありがとうございました。

「戦争はイヤ、いつまでも平和を守ろう」という県民世論を喚起したと思います。

賛同いただいた方には、原寸大の抜き刷りをお届けいたします。

5月22日(日)、母親大会に大集合!! 当日参加OK

5月22日 伊東市観光会館で開催する問題別集会

1 親子で遊ぼう
子どもの成長発達を願って親子で遊び、歌い、楽しいひと時を♪
【会　場】 別館（定員２８５名）※１０：００～１１：３０
【助言者】 平澤幸子さん（元保育園園長）／浦島浩司さん（シンガーソングライター）

以下２～６の集会は１２：００～１５：００で開催します。昼食を済ませてからお集りください。
（コロナの感染状況により、定員を減らす可能性があります。）

2 若い世代交流
聞きたい・言いたい・つながりたい　～子育てや働き方ｅｔｃ～
【会　場】第３会議室（定員３０名）
【助言者】小田篤美さん（ジェンダー福祉研究者）

3 講座「一人一人が大切にされる教育に!」
これでいいのかＧＩＧＡスクール構想　一人１台のタブレット配布で
子どもたちの脳や視力は大丈夫？子どもたちの発達にとって本当に必要なものは？
【会　場】 第１会議室（定員１５０名）
【助言者】糀谷陽子さん（全日本教職員組合中央委員）

4 憲法を守り 生かして真の平和を!
小澤隆一さん

平和憲法のもつ力　敵基地攻撃能力は本当に必要？
元自衛官の語る自衛隊の実態　東富士演習場の現状
【会場】 別館（定員２８５名）とオンライン併用
【助言者】小澤隆一さん（憲法学者・東京慈恵会医科大学教授）
形川健一さん（元海上自衛官、ベテランズ・フォー・ピース・ジャパン共同代表）
小野田ひで子さん（御殿場・小山母親連絡会）

5 改めて税金の使われ方を学ぼう
デンマークの税制度と豊かな暮らし　これでいいの？日本の税制度　平等で公平に
【会場】第２会議室（定員１２０名）
【助言者】吉田恵美子さん（スープ屋Ｈｙｇｇｅヒュゲ店主・デンマークに１年間在住）
大場三郎さん（税理士）

6 シンポジウム「防災と市民生活から街づくりを考える～伊東市の事例から」
安心して暮らしたい！土石流災害をどう考える？メガソーラーは？
地震・津波への備え　街の活性化も大問題　市の財政は？
【会　場】大ホール（定員３００名）
【パネリスト】川瀬憲子さん（静岡大学教授・地方財政）
坂庭国晴さん（ＮＰＯ法人住まいの改善センター理事長・コーディネーター）
薄羽美江さん（ITO まなびや Station 代表）